

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

めあて

「サーカスのライオン」の帯を作り、友達としようかいし合おう。

場面	小見出し	（ ）の心じよう曲線
一	年取った しんざ	新しい元気があ やる気がある・うれし い
二	男の子と 出合った じんざ	↑さびしい・元気がな やる気がない・悲し い
三		
四		
五		

私が選んだ大事な一文

- じんざは、ぐぐつとむねのあたりがあつくなくなった。
 - ライオンの体がぐうんと大きくなった。
 - ぴかぴかにかがやくじんざだった。
- 友達とくらべて**
- えらんだ文はちがっていたけど、じんざが男の子を助けたという気持ちは、同じだった。

「大事な一文」とは、「じんざの気持ちが大きく変わったことがわかる文」としてこれまで学習してきました。

↑
 広用紙の下には、既習場面の大事な一文の短冊が貼られています。ここでは、スペースの都合で省略しています。

【8 / 8時間目 指導略案】 使用するワークシート②⑧⑨
 活動のねらい

「サーカスのライオン」の帯を作り、友達と交流させることを通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

- じんざの心情曲線を基に、じんざのこれまでの気持ちの変化を確認する。

2 ワークシートの帯に、「サーカスのライオン」の大事な一文とそれを選んだ理由を書く。

- これまで書いた心情曲線と二〜五場面のワークシートを参考にしながら、大事な一文を選ばせる。

○ 帯に書く内容について確認する。

- ・ 大事な一文
- ・ そこを選んだ理由
- ・ そこにじんざのどんな気持ちが表れているか
- ・ そのじんざに対する想い（じんざへのメッセージ）

3 帯に書いた大事な一文とそれを選んだ理由について話し合う。① ペアで ② 全体で

- 完成した帯を教科書にかけて紹介し合うようにする。
- 交流の視点を提示する。
 - ・ 選んだ一文が同じかちがうか
 - ・ 選んだ理由にじんざの気持ちを想像する言葉が入っているか
 - ・ 帯に書いている内容の中で似ているところやちがうところがあるか

4 ワークシートに友達の帯を読んだ感想を書く。

- 友達の帯を読んだ感想を相手のワークシートに書き込ませる。

【評価】友達との交流を通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができる。できている。(イ2)

5 これまでの学習を振り返る。

- ワークシートで自己評価をする。
- 記述の部分は発表する。